

令和3年度第8回月形町地域拠点施設整備等審議会の開催結果

開催日時 令和4年3月24日（木）午後5時30分～午後7時10分
開催場所 月形町役場大会議室
出席委員 出席委員13名、欠席委員3名（西山委員、高島委員、梅木委員）
傍聴者 2名
月形町 五十嵐課長、竹内課長補佐、新道係長、山本主任

1 開 会 竹内補佐

2 挨拶

（福井会長）お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。10月に町から諮問を受けまして道の駅の審議をしてきました。コロナの影響で前回は書面で皆さんから意見をもらいました。集まって審議できなかったことは残念ですが、まん延防止期間でありましたので仕方ないことだったかなと思います。今日は、道の駅の答申について精査していきます。事前に資料を配布しており、目を通していると思いますので議件に入ってきます。

3 議 件

（1）道の駅の整備についての答申について（竹内補佐から説明）

（福井会長）答申案の説明がありましたが、皆さんからこの部分の書き方変えた方がいいんじゃないかとか、加えた方がいい文言がありましたらご意見をください。

（本多委員）社会的効果としてドライバーの疲労回復、沿線地域の交通安全や移動環境向上とかは審議会であまり審議してこなかったから、乗せなくてもいいのかなと思ったんですけど。答申としてこういう文言があった方がいいのでしょうか。

（竹内補佐）道の駅を整備するにあたっての基本的な要件、必要性について、国交省の定める道の駅の基本的な部分でもありますので、そういったところを記述させていただいております。基本的なことでしたので具体的な審議はしてこなかったのは事実ではありますが、これまで議論して整備に向けて検討してきましたというところを記述しております。

（福井会長）華美な施設整備を避けたいというのは、金銭的な問題もあるかとは思いますが、もうちょっと工夫できないものでしょうか。

（鳥潟委員）私もちょっとそこ気になってはいました。ちょっと制限されるような言い方、まあ捉え方の問題があるかもしれないんですけど、ここまで言わなくてもいいのかなと思いました。

（加藤委員）ちょっと客観性に欠けるというか、あの捉える人によって、この華美ってい

うのが程度が一定ではないというところを鑑みると、それに代わる言葉を何か入れた方がよろしいのかと思います。華美かどうかではなくて、コストが掛かっているのかどうか、必要最低限の事で抑えられたのかどうかというようなことが分かるような表現に変える方がよろしいのではないのでしょうか。

(竹内補佐) 華美な施設整備について、大きく分けると新築かそうじゃないかっていうところになりますが、その新築っていうところで、加藤委員が言われたような投資コストというところがいろんな複合的な部分があって、華美なという表現をさせていただいています。華美という言葉は人によって何が華美なのかというのは当然ありますし、鳥潟委員が言われた通りこのような文言で整備方法に蓋をしてしまうと、本来必要なものもやれなくなっちゃうとか、まあそういうことはありますので、コストに見合った、最大限の機能とサービスが提供できるような、施設にしていかなきゃいけないというふうに思っていますので、まとめ方を考えさせていただきたいと思います。

(加藤委員) 言葉のあれなんですけど、「最大限の効果が得られるような施設整備を目指し」のような方向にすればいいんじゃないですか。

(福井会長) 華美な施設整備の部分については改めて考えますが。(1)施設整備についての結論について町が目指す道の駅の考え方は妥当であるという文面でよろしいですか。

(加藤委員) 町が目指すところに審議会が賛同するような言い方になるのですか。審議会が主体性を持つ言い方でないとダメではないですか。

(福井会長) ここの文言については加藤委員の言うような「審議会として整備は適当である」という文言とします。

次に道の駅の設置場所についてご意見をください。

設置場所について意見がないようでしたら、審議会として道の駅の設置場所は皆楽公園が妥当であるという結論とします。

(福井会長) 次に皆楽公園と道の駅の相乗効果についてご意見をお願いします。

(加藤委員) 「皆楽公園だけではなく、その効果が月形町市街地及び町全体へ広がりを見せ」の部分はいいと思います。皆楽公園をハブという形で、そこからこうスポーツがこう広がっていくようなイメージは、私個人は見えているので、ここについては異存はないんですが、その後ろのですね。「町民みんなの暮らしの質が向上し」というところの具体的なところが、ちょっと私は全然想像がついておらず何を持って質が向上すると言えるのか、これ載せちゃうとどうでしょうね。何をもってって思う方がちょっといるのかなという感じがします。

ここの一文なんですけど例えばですけど、活気ある月形町の醸成に寄与するというような、感じだとまあまだいいかなと。ちょっと暮らしの質っていう感じだと違うかなと思いました。

(福井会長) 道の駅は別に町内の人たちだけの施設では当然ないわけですがけれども、やっぱりその外から人が入ってきて、交流人口が増えたりすることによって結果、活気づくのかなという感じが致しますので、町民の暮らしじゃなくて、月形町が活気づく的な方向かなと言う感じが致します。

次に付帯意見についてのご意見をお願いします。

(松山委員) 議論する場面がなかったのですが、温泉のトイレのことにに関して、清潔な明るくってというトイレの表現はすこくいいと思うんですが、トイレの設置場所についても付帯意見の中に付け加えていったらどうでしょうか。

(竹内補佐) トイレの設置場所については非常に重要になってきます。現在の駐車場のレイアウト、既存建物の関係で自由度は低くなっています。その中でただの公衆トイレがあってもあまり効果がないので、今回改修する温泉との連動性は必要になってくると考えています。温泉改修の計画にも、数カ所の候補地を挙げていまして、温泉施設の近くにするとか、一方では温泉の入口とトイレがそんなに近くていいのかとか、スペースの問題もありますし、動線を考えたりもしないといけないです。前回の審議会が書面だったので、おそらくこういった意見も集まっていれば多く出されたのかなと思います。正直悩んでいるところでもありますので、皆さんがイメージしているものがありましたらご意見を頂きたいと思います。

(福井会長) 温泉のトイレの整備は当然ですけど、月形緑苑の向かいにあるキャンプ場のトイレは整備しないんですか。

(竹内補佐) そのトイレは設置から何十年も経っていないので、現状の機能で十分対応できるかなと思っています。このトイレはキャンプ場利用者のトイレになりますので、冬期間は閉鎖しています。また、温泉とは反対側の駐車場に設置していますので、それを建て替えするとなった場合、利用者の安全面も検討しなくてはなりません。国交省の認可のこともありますし、やはり安全なのは温泉側に設置するのがいいと考えています。

(伊藤委員) 水辺の家のトイレは。

(竹内補佐) 水辺の家は皆楽公園の閉鎖に合わせて閉鎖となるが、冬期間のワカサギ釣り客のため、道路と反対側は開放して利用できるようにしているが、公衆トイレとしての機能はない状況です。通年で利用できるのは温泉側にあるトイレのみとなっていますので、改修は温泉側のトイレを考えています。

(伊藤委員) 以前、温泉で働いていた時に、利用客から温泉とトイレの距離が遠いという声をきいたことがあった。中からでも外からでも入れるようなトイレはどうでしょうか。

(竹内補佐) 一体的に整備すると管理の面ではメリットが出てくると思います。施設との連動性が重要となりますので、利用しやすいかたちを考えていますが、既存施

設でどこまでできるか、増築等も検討していますが、建築基準法も厳しくなってきましたので、そういった部分の制約もあり、複数の候補地を挙げているところでは。

(加藤委員) ホテルの本館を取り壊すという案が出ていたと思いますが、解体後のところに24時間対応のベビールーム等の機能込みのトイレを設置するのが動線的にもよろしいのかなど。他の道の駅では、同じ建物の中にあるけど、シャッターでエリア分けできるようになっています。なので、本館跡であれば面積も十分に個室も多く設置できるのと思いました。

(鳥潟委員) 今のトイレの位置は場所としていいと思いますが、道の駅になってお客さんが多くなったとき、今の場所だと車の通行が多くてトイレ利用者には危ないのではないかなと思いました。なので場所は分かりませんが建物側にあった方がいいと利用してもらえるのかと思いました。

(松山委員) 加藤委員が仰ったように女性の道の駅利用者はトイレが重要で、個室が沢山あって、きれいで、それとトイレと連動して地域のものを扱う場所が必要だと思いますので、その辺を考慮いただければと思います。

(竹内補佐) 付帯意見の中に安全性や既存施設との連動性といった文言を括弧書きで加えることとします。

(本多委員) カフェ、レストランの整備とありますが、なんかレストランという言葉に引っかかってしまいます。レストランとなると設備費用も高額になって、維持費もかかりますし、いろいろな問題がでてくると思いますが、もう少し柔軟な表現にできないでしょうか。

(竹内補佐) 現在は温泉ホテルも飲食ができない状況、サービスを停止しています。でもこの部分は経営的にも大きい部分で、今回の改修を機に飲食サービスは早急に再開したいと考えています。ただ、レストランだと規模も大きくなってしまいうイメージがありますので、今の施設の中で飲食サービスを展開していくような表記も良いのかなと思いました。

(福井会長) 改修後、宿泊者はレストランで食事をするようになるのか。

(竹内補佐) この部分に関してはいろいろ意見が出ておまして、温泉側の建物内で飲食ができたらいいいという声もあります。ただ、客室と温泉の間に渡り廊下があって、距離感があるのも気になるころではありますが、今の温泉の営業を考えると温泉側で人の動きが多いので、経営面からも温泉側にあると収益なども見込めると考えています。

(加藤委員) カフェ、レストランの表記は一括して飲食施設などとしては。

(竹内補佐) 温泉改修に合わせて道の駅を目指している中で施設を活用した場合、どういった飲食サービスが一番効率良いか、今までのレストランも町民の方の利用も多くありましたし、町外から来られる人にもどこで食べたらいいかという問い

合わせもあります。これらのことも意識しながら飲食サービスの展開が必要となりますので、カフェなのか、レストランなのか、食堂なのか表記は悩ましいところでは。

(鳥潟委員) 飲食店の規模がわからないのですが、どれくらい収容するのかによって表記も変わってくるのかなと思います。

(竹内補佐) 少なくとも今までの規模よりは大きくなることはないと考えています。コロナの状況の中で、以前のような大人数での宴会は本当にできるのか、厨房設備等も縮小して全体的にコンパクトにした方が回転が早くなるとかもありますので、今後の計画の中で検討していきます。

(松山委員) レストランのところで夜間営業とありますが、結構遅くまでやるという意味だと思いますが、やはりレストランに併設したかたちでいろいろなものを販売できる自動販売機の充実が必要なことだと思います。レストランを再開したとしても時間の制約があったり、人員を配置するとコストもかかったりしますので、食べ物やそれ以外の独自の自動販売機を取り入れて、人を配置しなくても利用できるようなコーナーをレストランと一緒に考えても良いのではと思いました。

(福井会長) 松山委員からの意見は前回の書面開催の集約結果に自動販売機のこと書いてありまして、夜間のレストラン営業も厳しいので、いい意見だと思います。

(加藤委員) 一般的な道の駅に付帯する飲食店の夜間営業は、18 時くらいまでやっている所が多いと思うんです。月形では 20 時までやるとすれば、経営的に無理もなく、町民も晩御飯時に利用できる時間で、道の駅としてこの時間までやっているというアドバンテージにもなるのかと思います。なので、夜間営業というのは 22 時 23 時とか酒を飲むような時間まで空けるということではなく、20 時くらいが適当なのかと思っています。そこにプラスアルファで松山委員の仰ったような自動販売機の対応とか、電子レンジを置いたりして、セルフでやっていけるような設備をつけてもいいのかという気がします。

(竹内補佐) 飲食サービスを 22 時くらいまでやる必要はないと思っています。町内の店舗も減っていることもありますので、外来客の対応として 20 時、20 時半くらいまでやっているレストランを設置できればと考えています。

(福井会長) 他に意見がないようでしたら今までの皆さんから意見を踏まえて修正したものを私と廣野副会長で確認し、町長へ提出することとします。

審議会についてですが、令和 4 年度からは拠点施設の審議となりますが、学校の移転の話が前提になりますし、拠点施設の整備予定が後年になったこともあってちょっと先の話になります。現時点で拠点施設の審議を月 1 回開催する段階にはないと思っていますでしょうか。

(五十嵐課長) 義務教育学校については、答申がそろそろ提出されるということでした。

その答申内容によって拠点施設の整備年次も変わってくると思いますので、会長が言われた通り、先が空いてしまって審議をしてもだいたい話が変わってしまうことも予想されます。なので、4年度の審議会については、温泉改修プラス道の駅整備について、皆さんからご意見をいただくような時間にした方が良いのかなと考えています。

(福井会長) 拠点施設の話はいつ頃になるかわからないということですので、温泉改修についての経過説明などの審議会を予定することとします。他にありますか。

(加藤委員) 次年度以降の動きですが、道の駅に関しての視察はどうするのでしょうか。

(福井会長) 視察は行いません。

(加藤委員) 専門家を入れて審議していくことについては。

(竹内補佐) 専門家を招聘する予算は取っていますので、今後の整備の展開で必要な部分がある場合は、皆さんと一緒に考えていくことも良いのかと思いますが、具体的にどういう形で今後、提案やアイデアをもらってサポートしてもらったりというのは拠点施設の審議する部分が当初から変わってきていますので、会長と相談しながら必要に応じてやっていければと考えています。

(福井会長) 拠点施設の審議の話が少しでも見えてきたら専門家を呼んだり、視察も検討します。

(竹内補佐) 今回いただいた内容を最大限、皆さんの真意を汲み取って文言修正等させていただきます。会長、副会長には、最終確認をしていただいて、完成とさせていただきます。そこら辺の部分のちょっと確認をお願いしたいと思います。そして完成した際には皆さんに改めて送付させていただきます。答申書の渡す日時については会長、副会長のスケジュール調整をしながら、あの行っていききたいと思いますので、その辺の日時もあわせて一緒にお知らせできたらなと思いますけれども、まず答申書の完成形を渡すということは、そういう形で進めさせていただきたいと思いますので、改めてご了承いただきたいと思います。

(福井会長) 10月から5ヶ月間の期間に道の駅について、皆さんからいろんな意見いただいて、こういう町民の皆さんのいろんなご意見を聞ける場が増えてきたような気がします。前回の意見の中で加藤委員から、道の駅は寄ってもらうんじゃなくて、引き入れなきゃだめだと、そういうような内容のご意見もありましたので、町としても温泉の改修や道の駅について、審議会で色々こう考えてきましたのでその点は十分反映していただきたいと思います。それでは皆さん、ご苦労様でした。